

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社 スーパー大栄
コード番号 9819

上場取引所 福

URL <http://www.superdaiei.com>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中山 勝彦
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)阪本 博美 (TEL)093(602)2770
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,671	△4.0	26	△78.9	8	△92.5	△30	—
25年3月期第3四半期	18,399	△6.2	127	271.0	110	756.0	75	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△4.30	—
25年3月期第3四半期	10.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,749	3,331	31.0
25年3月期	10,531	3,382	32.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,331百万円 25年3月期 3,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	3 00	3 00
26年3月期	—	0 00	—		
26年3月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△3.6	10	△92.0	△10	—	△50	—	△6 95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	7,200,000株	25年3月期	7,200,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	7,606株	25年3月期	6,006株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	7,193,332株	25年3月期3Q	7,195,497株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
4. 補足情報	8
(業績の推移)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和政策並びに米国経済の景気回復等を背景に、円安、株高が進み、大企業を中心に企業収益は回復してまいりました。また、4月から消費税の引き上げが確定している為、引き上げ前の駆け込み需要も重なり、個人消費は回復してまいりました。

しかしながら、欧州の財政問題、米国の金融緩和縮小による影響や中国景気の下振れリスク等、景気悪化の懸念材料も潜んでおり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、小売業界におきましても、競合店が積極的な出店攻勢でシェア拡大を図る一方、一部の地域では、消費者の低価格志向を察知して、超低価格で顧客の囲い込み作戦を実施するなど、生き残りを掛けた熾烈な戦いは現在も続いており、経営環境は以前にも増して厳しくなっております。

このような状況の中、当社では、フレッシュ8事業部の売上高アップを図るため、平成25年10月に「フレッシュ8三苦店」、平成25年11月に「フレッシュ8岡垣店」と「フレッシュ8福間店」を其々、改装致しました。改装オープン後は3店舗共、安定した売上高で推移しておりますものの、第2四半期までの売上高未達を挽回するまでには至りませんでした。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は17,671百万円(前年同四半期比4.0%減)、営業損益は26百万円の営業利益(前年同四半期比78.9%減)、経常損益は8百万円の経常利益(前年同四半期比92.5%減)となり、四半期純損益は減損損失15百万円や法人税等調整額25百万円の計上等により30百万円の四半期純損失(前年同四半期は75百万円の四半期純利益)となりました。

なお、事業部門別売上高は次のとおりであります。

事業部門	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同四半期増減率(%)
	(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品	10,444	56.8	10,055	56.9	△3.7
一般食品	6,056	32.9	5,825	33.0	△3.8
日用雑貨	612	3.3	563	3.2	△7.9
その他	1,072	5.8	1,066	6.0	△0.6
計	18,186	98.8	17,511	99.1	△3.7
その他の事業	213	1.2	160	0.9	△24.8
合計	18,399	100.0	17,671	100.0	△4.0

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前期末比218百万円増加し、10,749百万円となりました。

流動資産は、前期末比426百万円増加し、2,710百万円となりました。これは、現金及び預金が363百万円、商品が81百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前期末比208百万円減少し、8,039百万円となりました。これは、固定資産の減価償却費が229百万円となったことなどによります。

流動負債は、前期末比352百万円増加し、5,360百万円となりました。これは、短期借入金が120百万円減少したものの、買掛金が469百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前期末比83百万円減少し、2,057百万円となりました。これは、長期借入金が136百万円減少したことなどによります。

純資産は、前期末比50百万円減少し、3,331百万円となりました。これは、四半期純損失30百万円の計上や、配当金21百万円の支払いにより利益剰余金が減少したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、前回公表(平成25年11月12日付)いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,460,253	1,823,258
売掛金	4,172	7,544
商品	690,771	771,863
その他	128,675	107,448
流動資産合計	2,283,873	2,710,115
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,160,306	3,048,935
土地	3,282,026	3,272,728
その他(純額)	539,667	539,985
有形固定資産合計	6,982,000	6,861,650
無形固定資産	132,365	123,278
投資その他の資産	1,132,966	1,054,260
固定資産合計	8,247,332	8,039,189
資産合計	10,531,206	10,749,304
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,908,236	2,377,242
短期借入金	1,800,000	1,680,000
1年内返済予定の長期借入金	563,000	568,000
未払法人税等	28,367	7,076
賞与引当金	33,000	7,000
ポイント引当金	10,215	9,728
店舗閉鎖損失引当金	2,955	2,020
その他	662,924	709,780
流動負債合計	5,008,698	5,360,846
固定負債		
長期借入金	991,000	855,000
退職給付引当金	685,016	698,456
役員退職慰労引当金	101,959	105,592
その他	362,428	398,127
固定負債合計	2,140,403	2,057,177
負債合計	7,149,101	7,418,024

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667,108	1,667,108
資本剰余金	1,617,919	1,617,919
利益剰余金	85,477	32,933
自己株式	△1,321	△1,554
株主資本合計	3,369,182	3,316,405
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,921	14,874
評価・換算差額等合計	12,921	14,874
純資産合計	3,382,104	3,331,280
負債純資産合計	10,531,206	10,749,304

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	18,399,554	17,671,629
売上原価	14,540,791	14,003,104
売上総利益	3,858,762	3,668,524
営業収入	291,354	280,733
営業総利益	4,150,117	3,949,258
販売費及び一般管理費	4,022,333	3,922,264
営業利益	127,783	26,994
営業外収益		
受取利息	2,835	2,546
受取配当金	5,267	4,333
違約金収入	3,300	—
その他	10,554	9,178
営業外収益合計	21,957	16,058
営業外費用		
支払利息	37,899	34,021
その他	1,054	764
営業外費用合計	38,954	34,786
経常利益	110,786	8,266
特別利益		
固定資産売却益	5,229	22,522
投資有価証券売却益	7,336	2,947
受取保険金	1,011	2,147
特別利益合計	13,578	27,617
特別損失		
減損損失	—	15,594
固定資産除却損	3,004	12,588
その他	1,344	729
特別損失合計	4,349	28,911
税引前四半期純利益	120,015	6,971
法人税、住民税及び事業税	17,004	12,033
法人税等調整額	27,103	25,900
法人税等合計	44,108	37,933
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,907	△30,962

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年1月31日開催の取締役会において、株式会社イズミ（以下「イズミ」という。）との間で資本業務提携及びイズミを割当先とする第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当増資」という。）を行うことについて決議いたしました。

1. 資本業務提携の概要

(1) 業務提携の内容

現時点で想定している業務提携の項目及び内容は、次のとおりであります。これらの具体的内容につきましては、今後、イズミとの間で協議により決定してまいります。

- ① 商品仕入れの見直し、イズミとの共同仕入によるスケールメリットの拡大
- ② 店舗競争力向上に向けた売場活性化の推進、テナント招致等
- ③ 物流、販促、資材購入等における協力
- ④ 総菜や生鮮、経営管理、マーケティング等における人材交流
- ⑤ 有望立地への新規出店や不採算店舗の閉鎖に係る協力
- ⑥ カード戦略の共有化
- ⑦ その他両者合意事項の推進

(2) 資本提携の内容

当社は、本第三者割当増資によりイズミを割当予定先として当社の普通株式1,772,000株を発行する予定であり、イズミは発行される新株式の全てを引き受けます。

本第三者割当増資による新株式の発行により、当社の総株主の議決権の数(8,892個)に対する割当予定先であるイズミの議決権の保有割合は19.93%となります。

2. 資本業務提携の日程

平成26年1月31日 取締役会、資本業務提携契約締結

平成26年3月4日 払込期日

3. 第三者割当の概要

(1) 募集株式の種類及び数	普通株式 1,772,000株
(2) 募集株式の払込金額	1株につき147円
(3) 払込金額の総額	260,484,000円
(4) 増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金 131,128,000円 増加する資本準備金 129,356,000円
(5) 募集又は割当の方法並びに 割当予定先及び割当株式数	第三者割当の方法により、以下の割当予定先に割り当てる 株式会社イズミ 1,772,000株
(6) 申込期日	平成26年3月3日
(7) 払込期日	平成26年3月4日
(8) 資金使途	設備資金(改装費用及び新店舗出店費用等)
(9) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とします。

4. 補足情報

業績の推移

(百万円未満切捨て、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	22,061	△3.3	142	△51.5	117	△54.6	△56	—
23年3月期第3四半期	20,898	△5.3	△34	—	△63	—	△67	—
24年3月期第3四半期	19,611	△6.2	34	—	12	—	△76	—
25年3月期第3四半期	18,399	△6.2	127	271.0	110	756.0	75	—
26年3月期第3四半期 (当第3四半期)	17,671	△4.0	26	△78.9	8	△92.5	△30	—
	5期連続減収		3期ぶり減益		3期ぶり減益		2期ぶり四半期純損失	